総合計画の策定に向けた若手社会人とのタウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：未来の理想的な松山について』　令和5年8月31日（木）13：30～

（※）総合計画は市政の最上位の計画で、行政と市民の共通の指針となるものです。令和7年度からスタートする「第7次松山市総合計画」の策定に向けて、将来のまちづくりの主役になる若い世代とのタウンミーティング特別版を開催し、松山市の時代のまちの姿を描くため、意見交換しました。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と対応時期 | 対応策または不可能な理由等 | 担　当　課 |
| 1 | オーバーツーリズム[[1]](#endnote-1)のない観光地であってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、道後温泉や松山城をはじめ、さまざまな観光資源の魅力を観光ＷＥＢサイトやＳＮＳを活用して発信するとともに、小説『坂の上の雲』ゆかりの地域資源を生かし、まち全体を屋根のない博物館に見立てた「フィールドミュージアム構想」により、市内の周遊につながるよう取り組んでいます。松山市や観光コンベンション協会、民間の方が連携し、市民の皆さんも、観光で来られた皆さんも満足していただけるまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089－948-6213 |
| 2 | 市民全員がコンシェルジュ[[2]](#endnote-2)になっているまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市にはお遍路さんのお接待文化が根付いており、地元の人々のおもてなしや交流も観光誘客の大事な要素です。そこで、観光客をおもてなしする地元小学生を「まつやま観光キッズ」に任命し、道後温泉本館周辺でおもてなし活動を実施しています。また、外国人観光客に対応するため、まつやま国際交流センターと連携し、外国語観光ガイドの養成講座なども開催していますので、国内外を問わず、観光で来られた皆さんが満足していただけるまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 3 | 松山に来た人や県外企業が好きになるまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市には、愛媛ＦＣや愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス等のプロスポーツチームがあり、県外の方からの応援や、観戦のために来松していただけるきっかけになると考えています。また、ふるさと納税の返礼品に地域の特産品をはじめ、宿泊施設の利用券をメニューに加えるなど松山ファンを増やす取り組みを進めています。県外の方からも松山市を好きになっていただけるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089－948-6213 |
| 4 | DXでシームレス観光[[3]](#endnote-3)ができるまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 公共交通については、ＪＲ松山駅周辺の整備に合わせて、高速バスを快適に利用できるよう、バスタプロジェクトを進めているほか、松山市駅前広場では、バスターミナルの集約や路面電車と郊外電車の乗り継ぎをスムーズに出来るように整備するなど、利便性を高める取り組みを進めています。また、ＳＮＳなどを活用した情報発信をおこない、観光客の誘客につなげています。デジタル技術のより有効な活用について検討しながら、観光客の利便性を高めたまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
|  5 | 交通系ＩＣカードなど、全国共通の電子決済が導入され、公共交通機関やサービスの利便性が向上しているまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山城や道後温泉本館などの観光施設の支払や、市民課の証明書交付手数料の支払では交通系ＩＣカード（Ｓｕｉｃａ、ＰＡＳＭＯなど）の電子決済を導入しています。また、株式会社伊予鉄グループが運営する市内電車や松山空港リムジンバスで、令和６年３月から全国交通系ＩＣカードの導入が予定されています。松山市駅前広場・ＪＲ松山駅前周辺整備等により、市民の皆さんや観光客が便利でスムーズに移動できるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 6 | 新幹線の開通や、松山市駅・ＪＲ松山駅が拡充され、駅周辺に賑わいがあるまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 新幹線については、四国４県の官民でつくる四国新幹線整備促進期成会が、国土交通省に要望を行うなど、四国新幹線の実現に向けて取り組んでいます。また、広域交通の拠点となるＪＲ松山駅周辺や、地域内の交通拠点となる松山市駅前広場についても整備を進めています。市内外の人が便利でスムーズに移動でき、駅周辺の新たな賑わい創出につながるよう、新たな総合計画策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089－948-6213 |
| 7 | バスが自動運転化され、人材不足が解消され利便性が向上しているまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 自動運転は、県内でも令和４年度に中予地域で自動運転バスの実証運転が行われるなど、技術開発が進んでいます。松山市でも、伊予鉄道の高浜駅と松山観光港を結ぶバス路線で、令和６年度以降の自動運転の実証実験を行う予定です。ＩＣＴを活用して、交通安全対策などの地域課題の解決につながるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 |
| 8 | 大街道・銀天街が魅力的な商店街になってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、休憩所などの賑わいにつながる交流拠点づくり、キャッシュレス決済の導入などの支援を行い、広域からの集客や回遊促進、リピーター確保につながる取り組みを行っているほか、商店街の空き店舗に出店する事業者に対して奨励金を給付しています。まちなかが活性化して市民の皆さんが出かけたくなる魅力あふれる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 9 | 駐車場や交通の整備などにより、中心市街地に行きやすいまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、人口減少や少子高齢化などの環境の変化に対応した持続可能なまちを目指し、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりに取り組んでいます。また、松山市駅前広場の整備を進め、利用者の利便性向上と中心市街地の活性化につなげていきたいと考えています。誰もが安心して快適にまちなかに出かけられる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089－948-6213 |
| 10 | 地産地消できる環境がつくられているまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、農林水産物の魅力を発信する特設ＷＥＢサイト「マルっと まつやま」を開設し、旬の地元食材や生産者インタビューや直売所などの情報を随時配信するほか、ライブコマースを使ったブランド産品の紹介、販売を実施しています。また、大街道商店街で「まつやま農林水産まつり」を開催し、地産地消の啓発などを行っています。生産者と消費者がつながることで相乗効果を生み、地産地消が進んでいる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 11 | 都会に見劣りしない賃金水準のまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、資格取得や職業能力の開発・向上のために厚生労働大臣指定教育訓練講座を受講・修了した求職者を対象に訓練講座の受講費用の一部を助成しています。コロナ禍を契機に住む場所を問わない企業も増えていることから、松山市で働くことを選択していただけるよう次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 12 | 投資・起業を含め、魅力的な仕事、働き方の選択肢が多いまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、スタートアップや起業（創業）支援のため、松山しごと創造センターを設置し、ワンストップで相談できる体制を整備し支援しています。また、事業所の新設・増設・移設などに関する奨励金制度を設置し、松山市への企業進出や事業拡大をサポートしています。魅力的な仕事や多様な働き方が選択できる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089－948-6213 |
| 13 | すべての職種でどこでも働けるまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、市内の中小企業と都市部の複業人材とのマッチング支援により、人材不足の解消と関係人口の創出につなげています。また、多様な人材の活躍や柔軟な働き方を推進するため、コワーキングスペース[[4]](#endnote-4)の利用について補助しています。より多様な働き方が選択できる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 14 | 子どもが室内で気軽に遊べるまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、総合コミュニティセンターや青少年センター、児童館など、子どもたちが気軽に訪れ自由に過ごせる環境を整備しています。子どもたちが安心して思いきり遊ぶことができる次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 15 | 子どもと親が一緒にいられる時間が日本一長くとれるまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、市内事業所などから「まどんな応援宣言事業所」を募集し認証することで、働きながら子育てしやすい職場づくりの機運を高めています。また、松山市役所は「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、令和７年度までに男性職員の育休取得率１００パーセントを目指して取り組んでいます。街がコンパクトで、全国のなかでも通勤にかかる時間が短く余暇時間を長く取ることが出来るという強みを活かし、子育てしながら働きやすい職場環境が市内に広がるよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089－948-6213 |
| 16 | オンラインの活用により、誰も取り残されない教育環境が整備されたまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、国のＧＩＧＡスクール構想[[5]](#endnote-5)に基づき、令和2年度までに市立小中学生全員に１人１台端末を整備しています。端末を活用してデジタルドリルで学習することで、習熟度に合わせた学習に取り組むことができ、不登校気味の児童・生徒への学習支援にもつながっています。また、ハード面でも、学校施設等長寿命化計画に基づき、校舎の大規模改修工事に合わせてバリアフリー化改修を行い、障がい等の有無にかかわらず、誰もが支障なく学校生活を送ることができる環境の整備に取り組んでいます。新たな技術の活用などにより、子どもたちが夢をあきらめずに叶えられるよう、教育環境が充実した次代のまちの姿を新たな総合計画の策定の中で検討します。 |
| 17 | 産んだ後ではなく、出産施設など産むためのハード整備も充実したまちになってほしい。 | ■可　能■対応済□今年度中□次年度以降□検討中□不可能■その他 | 松山市では、少子化対策と子育て環境の充実を図るため、令和５年４月にこども家庭部を新設し、将来の健やかな妊娠・出産のために健康状態を調べるプレコンセプションケア[[6]](#endnote-6)の支援や、子ども医療費助成の対象を１８歳年度末まで拡充するなど、新たな取り組みを進めています。また、令和５年２月には、母子手帳アプリ「まつスク」を導入し、子育て情報の発信や、オンライン相談にも対応しています。引き続き松山市医師会などと連携しながら、安心して出産、育児ができる環境づくりが進むよう、新たな総合計画の策定の中で次代のまちの姿を検討します。 | 企画戦略課総合計画・地方創生担当089－948-6213 |

1. 特定の観光地で訪問客が増加することで、地元住民の生活や自然環境、観光客自身にも悪影響を及ぼす状況のこと [↑](#endnote-ref-1)
2. ホテルや高級マンションなどで客の要望に応じて様々なサービスを提供する職業のこと [↑](#endnote-ref-2)
3. シームレスとは「継ぎ目のない」という意味で、複数の交通手段の接続性の改良や、観光客が必要な情報を的確に提供できる状況を整備することで、観光客がストレスなく観光できる状況 [↑](#endnote-ref-3)
4. 年齢や性別など関係なく、異なる職業や仕事を持った利用者たちが同じ場所で机や椅子、ネットワーク設備などをシェアしながら、仕事をする場所のこと [↑](#endnote-ref-4)
5. 全国の児童・生徒１人に１台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取組 [↑](#endnote-ref-5)
6. 将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと [↑](#endnote-ref-6)